



XPS 13

デル

アスキー総合研究所 遠藤諭所長が推薦 11インチクラスに13インチ画面を搭載！ 性能も質感も納得のウルトラブック



●OS Windows7 Home Premium ●CPU 第2世代インテル® Core™ i7-2637M プロセッサ ●メモリ 4GB ●ディスプレイ 13.3インチ(1366×768ドット) ●ストレージ SSD 256GB ●インターフェース USB 3.0、USB 2.0(PowerShare対応)、Mini DisplayPortほか ●本体サイズ 316(W)×205(D)×6~18(H)mm ●重量 約1.36kg



1月末日
PCは、いま買い時らしい

二ノースにもなっているのを見かけた人もいるかもしれないが、PCのお値段が下がっていきま買いたい時らしい。

単純に安い製品があるというのではなく、サクッと起動してSSDのおかげもあり、ふだんの仕事も早くなる。円高の影響もあるのだが、PCを構成する要素技術が成熟してきて、いいマシンが出てくるタイミングなのだと思う。

そこに、「デルの『XPS 13』というマシンを試用しませんか？」という話がやってきた。XPS 13については、今年1月に米ラスベガスで開催されたCEDIA(Consumer Electronics Show)という見本市で注目されたのを知っていた。パッと見、スタイリッシュデザインに目がいく「Ultrabook」だ。しかも、個人的にそろそろPCを買い換えようかという調べはじめていたときだったので(※1)、2つ返事でOK。その結果が、このレポートだ。

2月初旬平日
速さは仕事の“質”を決定する

PCを買い換えたいと思っていた理由は、いま使っているPCのスピード不足を感じていたから。エクセルでもグラフィックソフトでも、動作が速くなれば、おのずと仕事も早く終わる。それだけ、退社時間が早くなる。しかし、そうしたことが、すなわちPCのスピードの効果だといふのは正確ではない。

PCが速いということは、それだけ時間を手に入れたことになる。世の中では、お金で買えないのが、「時間」などと言われるが、PCに関してはウソなのだ。いままで3時間かけてやっていたことが2時間で終わるときには、同じように3時間かければ45時間かけた仕上がりになる。イラストレーターでも、私のような分析や原稿を書いたりする人でも、少しでも仕事にクリエイティブな要素があったら、そのことが言えると思う。

“仕事の品質”が変わることの意味はとても大きい。それは、自分自身がいるんなことに前向

※1
スマホがあってもPCは絶対必要

私の場合、タブレットやスマートフォンを利用してはいるが、どうしても仕事でいつもPCを持ち歩いている。タブレットを1時間たっぶり使ったつもりがPCなら20分で終わる内容だったというふうなことに心当たりのある方もおられると思う。もちろん、タブレットもスマートフォンも便利だから「使い分けの時代」が来ているといえる。

※2
SSDなどの恩恵でキビキビ仕事できる

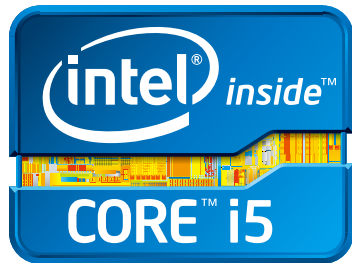
高速なCPUや、SSDのおかげでエクセルの巨大表の操作も軽々とやれるようになった。打ち合わせなどシビアな場面でも、PCがパツと復帰するようになった。気が付いたら、ノートPCというものがえらくキビキビとなっていたのだ。

※3
ふだんの仕事をいつもどおりこなせるか

実は、個人的にPCを買い換えようと思っていたのは、会社の机の上で地味に仕事の役に立つマシンだった。しかし、XPS 13に触っていて思ったのは「これでふだんの仕事もいける」という感覚だった。

※4
ただカッコイイだけのモバイルノートではない

XPS 13は、一見、いままでもあったモバイルノートだが、時代の変化を吸収した新しいカテゴリのコンピューターなのだと思う。そのあたり、デルの“リアルサイト”で実際に触って感じてもらうのがよさそう。



Ultrabook、Intel、インテル、Intel ロゴ、Intel Inside、Intel Inside ロゴ、Intel Core、Core Inside は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。

上品なアルミの板?



↑XPS 13の入った化粧箱から取り出してまず目をひいたのがその“薄さ”だ。

絶妙のサイズに
ただ“見る”

私の机の上に試用機が到着。実際に触ってみてまず感じたのは、XPS 13の“ちよつぷり”の感じ。の大きさは加減である。デルが、このマシンでいちばん

キーボードを堪能



↑たたいたときの感触に酔う。堅い板にカタカタと当たるような安定した底付き感だ。

ん前面に出してアピールしているのも、最薄部6ミリというスリムさと、11インチクラスの本体に13インチの液晶を搭載している点である。

薄さに関しては、特にゴリラガラスによる液晶部分の薄さは凄い。ゴリラガラスとは、コーニング社の開発した特殊強化ガラスのことで、最近になりスマートフォンやタブレットなど、さまざまなデバイスで採用されているものだ。

しかし、仕事で使いたいと思っている私としては、13インチがとても魅力的に見える(※3)。PCメーカーのサイトを見てみればわかるが、11インチ以下の画面というのはあくまで“モバイル”用途のものになり、13インチ以上は据え置き機の利用にも耐えるという違いがある。ユーザーもそれを知っていて、11インチでは、実際にユーザーに聞いてもウェブにアクセスしたり軽めの仕事くらいになる。それが、13インチでは、試行錯誤を繰り返すようなクリエイティブな仕事で使えるようになる

ゴム足の実用性に感心



↑2本のラインになったゴム足は、机面にしっかりと食いつき、安定感が抜群。

キーボードが
素晴らしい

1週間ほど試用。「このマシンはフツーにカッコよく、むしろ、使いやすさやスペックを堪能するマシンだ」という結論に達する(※4)。

天板は、シンプルなアルミの仕上がりで、指紋や傷がつきづらく、皮脂などの汚れにも強い。背面はカーボンで独特のテクスチャーと手触りが楽しめる。モバイルなので、両面がカッコよくなければいけないのだが、それは、もはや必要十分条件であつてアドバンテージではないのだ。それを象徴するのが、キーボードまわりの出来がとてもよい

カーボン繊維の織り目模様

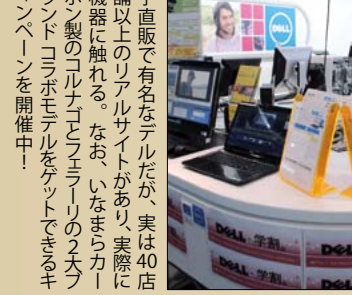


↑カーボンの模様が美しい。たたくと持ち歩くモバイル機ならこたわって当然なのだ。

そのために、大きさや画面サイズ、十分なスピード性能などをチューニングした新世代のノートだといえる。

会議室で、取引先で、そしてカフェで、常に持ち歩いてふだんの仕事をいつもどおりこなす。カッコがよくて、高いハードウェア性能、広い画面、打ちやすいキーボードでこなせれば、それは理想の世界だ。

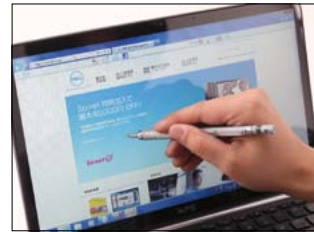
デル・リアル・サイト



↑直販で有名なデルだが、実は40店舗以上のリアルサイトがあり、実際に機器に触れる。なお、いままっকারボ製の「コナコ」フェアリーの2.5フランドルコアモデルをゲットできるキャンペーンを開催中!

ソリッドでエッジが効いた外観はまさに "スタイリッシュ" Check!!

傷つかないゴリラガラス



✪ 高強度、高剛性のガラス素材を用いたゴリラガラスを液晶部に採用。

タッチパッドも操作性◎



✪ マルチタッチ対応のパッドを採用。ジェスチャー操作にも対応する。

心地よいキータッチ



✪ キータッチは固めで、しっかりとした打鍵感で快適。原稿も早く仕上がる!?



正面

✪ 厚さは最薄部で6ミリ。ヒンジ側もさほど変わらない。右側面にUSB 3.0とディスプレイポート、左側面には電源オフ時でもUSB給電が可能なPower Share対応のUSB 2.0ポートなどを装備している。

左側面

右側面

電源アダプターも軽量



✪ 画面部分は容易にたわまない強度をもちながら、縁の幅は極細。11インチという本体サイズながら13.3インチ画面を実感できる。

✪ 付属のACアダプターは、手のひらサイズよりひと回り大きめ。約285gと軽いので、マシンとともに持ち運ぶのも、まったく苦にならない。

超極細な狭額縁タイプ液晶



余裕のキーピッチ



✪ キーピッチは横19ミリで、タッチは軽めだが、押し込み感はしっかりある。キーの上面がややラウンドしていて、指先とのフィット感も上々。

✪ 液晶側は指紋やキズが付きにくい加工が施されたアルミポディーで、本体側はカーボン製。堅牢性と軽さが見事に両立している。

本体はアルミとカーボン製



BrandNew!! 最新最速レビュー

高品質な複合素材ポディー
圧倒的なモバイル性能と
大画面を両立!

XPS 13

● デル ☎0120-912-142
● <http://www.dell.co.jp/xps13>

直販価格 8万9980円~

一見して目をひく "薄くスタイリッシュ" なデザイン。画面サイズや独自UIによるユーザビリティの高さなど、実用性にもこだわりが光る。XPS 13の魅力に迫る!



Ultrabook, Intel, インテル, Intel ロゴ, Intel Inside, Intel Inside ロゴ, Intel Core, Core Inside は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。



デル
XPS 13 (スタンダード)
直販価格 8万9980円

- CPU 第2世代インテル® Core™ i5-2467M プロセッサ
- メモリー DDR3-1333 4GB
- ディスプレー 13.3インチ (1366×768ドット)
- SSD 128GB
- OS Windows7 Home Premium
- グラフィック インテル® HD グラフィックス 3000
- インターフェース USB 3.0、USB 2.0 (PowerShare 対応)、Mini DisplayPortほか
- 本体サイズ 316(W)×205(D)×6~18(H)mm
- 重量 約1.36kg

"早い" 起動 "長い" バッテリー持続時間 Check!!

起動時間	一般的なノートPC	XPS 13
一般的なノートPC	22.8秒	
XPS 13		13.8秒

Check 1
起動/スリープからの復帰
ストレスを感じさせない
高速復帰が可能

休止状態にはできないため、スリープからの復帰時間を計測したところ、結果は1.4秒弱。起動時間は13秒台をマーク。軽快な起動速度を実現しており、ストレスはまったく感じない速さだ。

Check 2
バッテリー駆動時間
通常の利用であれば
1日の仕事もラクラク

液晶の明るさなどをまぶしすぎない程度に絞り、ウェブ閲覧やキーボード操作を想定したバッテリーベンチを実施。メールやオフィス文書作成などの作業が中心なら、1日の仕事も十分だろう。

バッテリー駆動時間	通常利用時	動画連続再生時
通常利用時	5時間32分56秒	
動画連続再生時		3時間27分24秒

Point!!

ゴリラガラスとアルミ&カーボンポディー採用

コンパクトポディーながら13インチの大液晶

心強いサポート体制でいざというときも安心

エッジなデザインに
大画面の実用性

昨年後半から手ごろで高性能なノートとして注目をあびるUltrabook。このほかに、デルが満を持して送り出したのが『XPS 13』だ。

シルバー&ブラックカラーの本体は、アルミとカーボン素材を採用。厚さは最薄部が6ミリ、最厚部でも18ミリと、数あるUltrabookの中でも目をひくスリムさだ。金属のソリッドな質感を備えながら、重量は1.36キログラム。持ち運びに苦があらハズもない。

そしてXPS 13の "ウリ" となるのが極細縁のディスプレイ。本体を開くと、ディスプレイ側面が表示領域といった印象だ。実測すると一般的な11インチノートの縁が2センチなのに対し約1センチ。両側で計2センチも広いことになる。これは、表面素材に強化ガラス "ゴリラガラス" を採用したことも大きい。その強度は、画面端を持つても

CPUに第2世代インテル® Core™ i5-2467Mプロセッサを採用し、メモリーは4GB、ストレージにはSSD 128GBを搭載。十分に実用性を備えた基本性能を確保しながら、8万9980円とリーズナブル価格を実現している点も本製品の大きな魅力といえる。

一方で、常に持ち歩きたくする高性能モバイルにおいても万が一のために気になるのがサポート体制である。

実はデルのサポートは、365日稼働しているうえに、受け付け時間は、なんと24時間体制だ。深夜に不具合が発生しても対応してくれる。しかも、対応してくれるのは、不具合だけではない。LANの設定方法から一般的なオフィスソフトの操作まで、PCのごくごく初歩的な質問にも答えてくれる。そう思うと、PCに明るくないユーザー向けにもおすすめできる一台でもある。

デザインにこだわり、さらに仕事に趣味にと "バリバリ持ち歩く" ノートが欲しい人には、最有力候補となるだろう。

週アス編集部員が使って納得

XPS 13

ハードウェア的に優れていることはわかっている、気になるのがその実用性。XPS 13を手にしたらどう使いこなすか?——日々、PCを使いこなすPC誌編集者が活用術を披露!

徹底活用術



Scene2

メインPCと2台体制で使う鈴木オススめのデータ共有
家では母艦PCや大画面液晶と
組み合わせさせて使うスタイルがクール!

ネットワークを利用して スマートにデータ共有

家ではネットワークを活用すると、より快適で便利な環境がとれる。たとえばデータの共有だ。母艦となるPCに書き込み可能な共有フォルダーを設定。そうすれば、USBメモリーなどで毎回データを移さなくても、エクスポローラ上からドラッグ・アンド・ドロップするだけでデータを受け渡し可能だ。

また、ドッキングステーションを利用して、オプションの液晶ディスプレイを利用するのもおすすめ。画面が大きく、ウェブサイトの閲覧もしやすい。たとえば「Dell S2330MX LED搭載超薄型モニター」なら、フルHD対応で、デスクトップの広さは内蔵ディスプレイに対して約2倍。超快適だ。

クラウドの定番 エバーノートを駆使!

スマホを含めた複数の機器でメモや写真類を共有するなら、作成データを自動同期できる『エバーノート』がオススメ。ユーザー側でデータをアップロードしたり、ダウンロードしたりする手間がなく、バックアップ代わりになる。

手間いらずでデータを同期



エバーノートをインストールすれば、画像やテキストデータなどが、クラウドを経由して手間いらずでラクラク同期。

音声ファイルでメモができる



音声ファイルもクラウドで同期可能。飲食店の印象をコメントとして残しておけば、即席グルメガイドにもなる!

マイアカウント制で修理対応



もしもの場合でも、ユーザーの自宅まで訪問して修理してくれるのが心強い。

深夜にかけてもつながる!

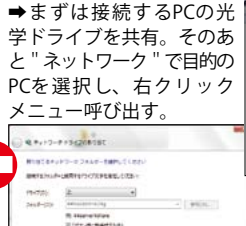


365日のサポート体制に加えて、24時間受付も実施。いつでも連絡できて安心。

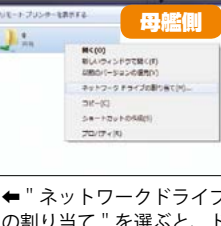
母艦の光学ドライブをXPC 13でネットワークドライブに割り当てて共有する



本製品に非搭載の光学ドライブも、メインマシンに装備したものを共有。LANを利用してクールに解決!



まずは接続するPCの光学ドライブを共有。そのあと「ネットワーク」で目的のPCを選択し、右クリックメニュー呼び出す。

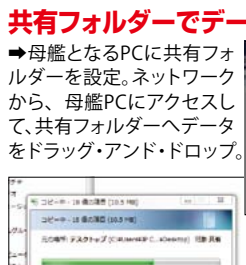


「ネットワークドライブの割り当て」を選ぶと、ドライブの作成画面になる。任意のドライブレターを選び、完了をクリック。

ドッキングステーションを活用



大型の液晶ディスプレイに接続。作業領域が広いため、複数のアプリを起動しても、快適に作業ができる。



データをコピー開始。あたかも、自分のPCで操作しているような感覚で、すばやくデータを共有できる。



共有フォルダーでデータを受け渡し

共有フォルダーでデータを受け渡し

母艦となるPCに共有フォルダーを設定。ネットワークから、母艦PCにアクセスして、共有フォルダーへデータをドラッグ・アンド・ドロップ。

充実のサポート体制で 恥ずかしい悩みも解決!

PC選びで、最も問題となるのが私の「PC力」。いえね、PC誌編集者なんです。よこれでも、ハードはからつきしゆえ、うっかり同僚にすすめられたマニアックなPCなんか選んでしまつと、たいへんです……。そこで頼りになるのがメーカーのサポート。XPS 13なら、標準メニューでも昼夜を問わず24時間365日体制でサポートを受けられます。引き取り修理や出張サービスにも対応して、イザというときも安心。有償サポートを選んだときの内容は、さらに手厚い。本体を落として破損したり、飲み物をこぼしてしまつたりといった、ユーザーが引き起こした偶発的なトラブルにも対応してくれま。そのうえ電話サポートでは、



Scene3

実はハードはからつきな鴻巣が問題克服
サポートメニューの手厚さで安心感大!

製品専属のサポート担当者が、PCのトラブルはもとより、LANやプリンターのセットアップ、データの移行方法などまで、レクチャーしてくれるという。果てはOSと一般的なアプリケーションの使い方も、教えてくれるそうです。これなら、人知れず自力でPCトラブルを乗り越えられ、いづばしのPC誌編集者を名乗れます。田舎の親類縁者にもすめちややおうと(私を頼らないように!)

型破りなサポート体制を実現



Microsoft Officeの使い方も教えてくれるなど、マシントラブル以外も対応してくれる。

外出先で仕事を完結 効率重視ならコレ!

取材などで、外出が多い僕の場合は「XPS 13」を手に入れたら、やっぱり持ち歩いて使い倒しますね!取材先からメールをチェックしたり、場合によっては、その場ですぐに原稿を書いて仕事を片付けられます。同期ソフトを導入しておけば、いざというとき自宅のPCにアクセスして、必要なデータを編集部に送るといったこともできる。いちいち、編集部に戻らなくても、仕事できるのが便利。しかも、インテルの「スマートコネクテッド技術」に対応しているの、スリープ中にメールやSNSにアクセス可能。常に最



Scene1

仕事効率化命!! イッペイはノマドスタイルに!
"できるオトコ"はクラウドを活用
モバイル道を突き進むべし!!

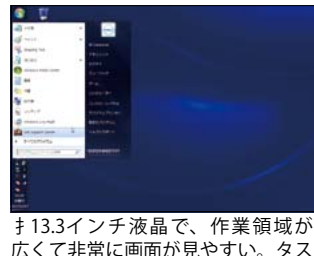
自動データ同期で手間いらず



複数のPCで、自動的にデータを同期できる『Windows Live Mesh』を導入。SkyDriveも駆使すれば大容量データの共有にもラクラク対応。

新しい状態を保っているの、XPS 13を開けば、すぐに作業を進められる。スケジュールに追われる僕たちには心強い。また、11インチクラスのサイズなのに、13.3インチの液晶パネルを搭載しているのも、うれしいポイント。11インチよりも、圧倒的に画面が見やすく、仕事もスムーズにこなせちゃう。手放せなくなる1台ですな!

13.3インチを効率よく使う



13.3インチ液晶で、作業領域が広くて非常に画面が見やすい。タスクバーを縦置きにしたりカスタマイズすれば、さらに効率がアップ。

PCを開いてすぐに仕事を開始



取材の合間に、外出先で情報を調べつつ、原稿を作成。"できるオトコ"はスマートに仕事をこなすのであります!

SNSをさらに使いこなすための 頼れるアプリをピックアップ!

モバイル利用中もSNSのチェックは欠かせないもの。TwitterのTLをチェックするなら、コンパクトに表示できるガジェットが便利。Facebookなども使うなら専用クライアントの導入がいちばん。

Sidechirp

●Incomprehensibilities ●http://buildagadget.com/ 無料



表示するタイムラインの長さは、任意に調整できる。ガジェット上からダイレクトに投稿やリツイートすることも可能だ。

sobees Ver. Beta 0.8.2.6

●sobees ●http://www.sobees.com/ 無料



TwitterやFacebookをはじめ、LinkedIn、Myspaceなどのサービスに対応するクライアント。複数のサービスをまとめて表示できるのが非常に便利だ。

デル最薄の液晶ディスプレイが登場!

Dell S2330MX LED搭載超薄型モニター

直販価格 1万5980円

最薄部わずか9.9mmの超薄型設計フルHD対応23インチ液晶モニター。オーバードライブ機能により、2ms (GTG)の高速な応答速度を実現し、動画やゲームなどの用途に最適。



追加ユニットで拡張性を大幅にアップ!

アイ・オー・データ DisplayDoc #USB-DD1

直販価格 9980円

USB接続型のドッキングステーション。USBポート4基のほか、有線LANやDVI-I端子を装備。複数の周辺機器を瞬時にまとめて接続できるのがメリット。



あると超便利!! 純正オプション

ウルトラブックはモバイル性に優れる一方、搭載インターフェースが少なく、小画面で自宅用PCとしては物足りないと思うかもしれない。そんなときは、オプションのドッキングステーションやディスプレイを活用。大画面かつ高拡張性をもつPC、ケーブルを外せば携帯性に優れたPCとして、マルチな活躍が可能だ。